

資料2

重要施設の取組の進捗状況について

No	件名	担当課	現状・進捗状況	課題	今後のスケジュール	君津市経営改革推進本部会・幹事会の意見
1	コミュニティセンターのあり方の見直し	市民生活課	○神門コミュニティセンターの風呂機能の在り方について、協議会及び自治会と協議を実施。 ○利用者へのアンケートを実施。	○神門コミュニティセンター風呂機能のコスト ○地元住民は風呂機能について存続を希望している。 ○風呂の利用者数はここ2年減少している。	神門コミュニティセンターのコストを精査し、利用料金等、今後の方向性を定め、議会、利用者等への説明が必要となる。	神門コミュニティセンターの風呂機能について様々な方策を調査・研究した結果、受益者負担の検討を行う。利用料金等の設定については、減価償却費等を含めた発生主義会計で算出したコストを基に設定する。
2	社会福祉センターきみつ借楽園の見直し	厚生課	6月 一般質問に対する回答 8月 利用者アンケート実施 8月 地権者1名状況説明 9月 法律相談（借地契約関係）	○敷地が全て借地（契約期間はH28年3月31日まで） ○コストに対する収入の割合が著しく低い ○建設当時からの変化 ○施設の老朽化	廃止する場合、受益者負担を上げる場合どちらにしても地権者や利用者への説明が必要となる。	結論を先延ばしせず、原価計算に基づく施設のあり方等を検討し、早急に施設の方向性及びその方向性と因果関係のある根拠を明らかにし、今後の方針を策定すべき。
3	市立保育園のあり方の見直し	子育て支援課	○5月の子ども子育て会議にて君津市保育環境整備に関する基本方針の整備について検討。 ○9月1日～30日の期間、上記方針についてパブリックコメントを実施。	○施設の老朽化及び耐震性の低い施設がある。	君津市保育環境整備に関する基本方針の整備についての意見集約及び意見反映の実施し、その後、議会等へ報告。	今年度中に整備計画を策定して、並行して来年度すぐに民間事業者の公募をかけられるように準備を進め、方向性が決まった保育園から順次取組みを進める。 また、既存施設は適切な維持管理を行っていく。
4	小中学校の適正配置	教育総務課	○4月～8月に教育委員会会議、議会全員協議会等において学校再編基本方針及び進捗状況の説明。 ○9月に学校再編有識者会議、総合教育会議において基本方針最終案協議及び進捗状況説明。	○地域住民の理解が必要 ○再編メニュー（小中一貫教育など）にあった人事配置、必要な施設整備などの資本投下も必要不可欠。	H27.10月末までに基本方針策定 H28.3月末までにマスタープラン（基本計画）策定 ※基本方針策定と同時に、住民説明会（地区単位）を行い、理解の進んだものから、校名や実施時期などを示した実施プログラムを策定する。	本市が保有する施設の大部分を占める施設のため、企画政策部など、他の部局と連携を図り取組みを進めていく。
5	学校給食共同調理場	学校教育課	6月 第5回学校給食共同調理場建設調査特別委員会 8月 足利市視察 9月 第1回学校給食調理場整備検討会議（庁内検討会議） 10月 鎌ヶ谷市施設 10月 第2回、第3回学校給食調理場整備検討会議	○建設コストの上昇 ○ランニングコストの想定及び整備方針の検討 ○既存施設の老朽化	12月頃：第4回学校給食調理場整備検討会議 年度内に方向性を決め、議会報告、住民説明を行う。	量の最適化及び財政負担の最適化を図り、最終的にライフサイクルコストの比較に基づき整備計画を策定する。
6	周西幼稚園のあり方について	学校教育課 教育総務課	保護者説明会及び意見交換会（4月、9月） 学校教育環境整備検討委員会（5月、9月） 君津市学校再編有識者会議（8月、9月） 教育委員会会議（9月、10月） 君津市学校再編有識者会議（10月） H29の募集停止の周知（11月）	○園舎の耐震化対策、安全確保 ○君津市全体の就学前児童に、よりよい教育・保育が提供できるよう、全庁的な検討を行う必要がある。	10月6日：保護者、地元等への説明会 ・周西幼稚園の今後の在り方について、学校再編のフレームの中で引き続き検討を行う。 ・君津市全体の幼児教育、保育の在り方について、全庁的な視野が必要となるため、保健福祉部とも協議を行っていく。	保健福祉部等と連携を図り、今後の方針を策定する。
7	衛生センター	環境衛生課	○H27.8に部内検討委員会を開催し、「基礎調査業務委託」の内容について精査。 ○H27.9し尿処理施設整備方針に係る基礎調査業務の契約締結	○設備の老朽化 ○整備方針の策定 ○高い維持管理コスト（年間約210,000千円）	H29 施設整備基本計画（コスト比較を行い処理方式を策定する）、PFI導入可能調査 H30 生活環境調査、施設整備基本設計 H31 施設整備詳細設計 H32～H33 建設 H34 稼働	施設の維持管理費用が高額であり、更新費用も大きいため、し尿の処理方法やライフサイクルコストなどを検討し、早急に施設の方向性を定める。